



会期 2017年11月3日(金・祝)～12月17日(日)

※会期中、大幅な展示替えがございます。

開館時間 10:00～18:00(金・土曜日は20:00まで)

※入場受付は閉館の30分前まで

休館日 11月6日(月)、11月27日(月)、12月4日(月)

観覧料 一般1,200(960)円、大学生700(560)円

★ごひいき割引 | 本展チケット(有料)半券のご提示で、会期中2回目以降の観覧料2割引

※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料 * ()内は前売り、団体20名以上、市内在住65歳以上の方の料金

※前売券は千葉市美術館ミュージアムショップ(10月23日まで)、ローソンチケット(Lコード:32858)、セブンイレブン(セブンチケット)(11月2日まで、11月3日以降は当日券販売)、及び千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口(11月2日まで)にて販売

主催 千葉市美術館/産経新聞社

特別協力 大阪新美術館建設準備室、アートシステム

「画壇の悪魔派」と呼ばれた日本画家、北野恒富の大回顧展

みどころ

◆大阪を代表する美人画家、北野恒富

北野恒富は、東京の錦木清方、京都の上村松園と並び称される大阪を代表する美人画家です。関東ではあまり聞き及ぶのない画家ではありますが、本展では日本画からポスター、挿絵本、スケッチまでを網羅する約180点を展示。北野恒富を紹介する個展としては2003年「浪花画壇の悪魔派 北野恒富展」(「東京ステーションギャラリー」他)以来の大規模な展覧会となります。

◆美人じゃない「美人画」!?

美人画家として活躍した恒富でしたが、中にはこれが美人画!?!と驚くような作品も。美しいだけでない官能、凄み、愛らしさといった、人間味あふれる女性を生涯描き続けました。初期から円熟期に至るまでの作風の変化にも要注目です。

◆人気を博したポスターの名作に注目!

当時の一大メディアであったポスターの原画を描いたことにより、恒富の名は広まりました。つい目が引き寄せられる片肌脱ぎの女性や、大きな瞳の美人たちは、購買意欲を誘うだけでなくポスター自体が増刷されるなど、人気を博しました。日本画よりも視覚に訴える、華やかなポスターの数々をお楽しみいただけます。

◆弟子の層もあつい! 恒富ファミリー大集合

近代日本を代表する女性画家の島成園や木谷千種など、恒富とともに大阪画壇を盛り上げた弟子たちの作品も。関東ではあまり触れる機会のない「大阪らしさ」にひたるひとときとなるでしょう。



《淀君》大正9年(1920)

耕三寺博物館蔵(全期間展示)



《ポスター:朝のクラブ歯磨》
大正2年(1913)
公益財団法人吉田秀雄記念事業財団
アド・ミュージアム東京蔵(全期間展示)



島成園《鉄漿》大正9年(1920)
大阪市立美術館(後期展示)

記者レクチャー

報道関係の皆様を対象に、会期前日に内覧会・記者レクチャーを行います。作品の見どころを担当学芸員よりご説明し、その後展示室をご覧ください。

11月2日(木) / 15:00より(1時間程度) / 10階会議室にて

参加ご希望の方は同封の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてご連絡ください。

「没後70年 北野恒富展」

広報用画像一覧

展覧会広報用として作品画像をご用意しております。是非、本展をご紹介くださいますようお願いいたします。ご紹介いただける場合は、別紙の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてご連絡ください。画像の使用は1回限りとし、展覧会紹介の目的にのみご使用ください。



1.《墨染》大正後期
川浦真樹氏蔵(全期間展示)



2.《願いの糸》大正3年(1914)
公益財団法人木下美術館蔵(全期間展示)



3.《ポスター：朝のクラブ歯磨》
大正2年(1913)
公益財団法人吉田秀雄記念事業財団
アド・ミュージアム東京蔵(全期間展示)



5.《鏡の前》大正4年(1915)
滋賀県立近代美術館蔵(前期展示)



6.《暖か》大正4年(1915)
滋賀県立近代美術館蔵(前期展示)



4.《淀君》大正9年(1920)
耕三寺博物館蔵(全期間展示)



7.《いとさんこいさん》昭和11年(1936) 京都市美術館蔵(後期展示)

※この他、プレスリリース掲載の画像でご希望がございましたら、ご相談ください。

「没後70年 北野恒富展」
広報用画像データ・プレゼント用招待券申込書

■ 写真ご使用に際してのお願い

- * 作品写真の使用は、本展のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。
- * 写真のご利用は、1 申込について 1 回とし、使用後のデータは破棄してください。
- * 基本情報確認のため、広報担当まで一度校正紙をお送りください。
- * 掲載後、広報担当まで見本誌をご送付くださいますようお願いいたします。
- * お手数ですが、招待券プレゼントの受付、発送などは、貴編集部にてお願いいたします。
原則として、掲載紙をご送付いただきました時に招待券をお送りいたします。

千葉市美術館
広報担当 行
FAX：043-221-2316

貴社名：	媒体名：
ご担当者名：	発行予定日：
TEL：	発行部数：
FAX：	定価：
Email：	掲載予定コーナー名等：
画像到着希望日： 月 日 時まで	画像の掲載サイズ <small>（おおよそで結構です 例：5cm 四方、など）</small> ：

■ 画像データ申込（ご希望のデータの番号に○をつけてください。）

1. 北野恒富《墨染》大正後期 川浦真樹氏蔵（全期間展示）
2. 北野恒富《願いの糸》大正3年（1914）公益財団法人木下美術館蔵（全期間展示）
3. 北野恒富《ポスター：朝のクラブ歯磨》大正2年（1913）
公益財団法人吉田秀雄記念事業財団 アド・ミュージアム東京蔵（全期間展示）
4. 北野恒富《淀君》大正9年（1920）耕三寺博物館蔵（全期間展示）
5. 北野恒富《鏡の前》大正4年（1915）滋賀県立近代美術館蔵（前期展示）
6. 北野恒富《暖か》大正4年（1915）滋賀県立近代美術館蔵（前期展示）
7. 北野恒富《いとさんこいさん》昭和11年（1936）京都市美術館蔵（後期展示）

※この他、プレスリリース掲載の画像でご希望がございましたら、ご相談ください。

■ プレゼント用招待券申込

（ご希望の場合はチェックをつけてください）

5 組 10 名様分 希望します。

（それ以外の枚数が必要な場合は別途ご相談下さい。）

チケット送付先
ご住所：〒

問い合わせ先

千葉市美術館 〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8

広報担当：磯野 愛

Tel. 043-221-2311（代表） / 043-221-2313（直通）

Fax. 043-221-2316

E-mail. isono@ccma-net.jp

HP. <http://www.ccma-net.jp/>

北野恒富展

没後
70年

ツネトミ

記者レクチャー参加申込書

記者レクチャー 11月2日(木) 15:00より 10階会議室にて

報道関係の皆様を対象に、披露説明会を行います。作品の見どころを担当学芸員よりご説明し、その後展示室をご覧ください。

参加ご希望の方はチェックボックスと下記項目にご記入の上、
こちらの用紙を **FAX(043-221-2316)** までご返信ください。

ご芳名

ご所属

貴媒体名

お電話番号

E-mail address

問い合わせ先 広報担当 磯野 愛

千葉市美術館

Tel. 043-221-2313 (直通) 〒 260-8733 千葉市中央区中央 3-10-8

HP. <http://www.ccma-net.jp/>